

DEGAM 鶴岡 ICT アンケート調査概要(令和4年度第一四半期)

【 令和4年4月～6月の概況 】

- ・ 年代別では、前年同期比で50代の割合が減少したものの、60代及び70代の割合が増加した。
- ・ 居住地別では、宮城県、隣接県（秋田県・福島県・新潟県）、東京都など県外居住者の割合が増加した。
- ・ 一人当たりの予算では、前年同期と比べて宿泊費の減少傾向が見られる。旅行期間は3泊以上の割合が増加した。

【 主な傾向など 】

- アンケートの回答者は、令和4年度第一四半期（4～6月）では440人であり、前年同期比で274人の減少となった。
- 年齢割合をみると、60代が29.6%（前年同期28.8%）で最も多く、次いで50代が27.0%（前年同期32.0%）、40代が15.5%（前年同期15.3%）、70代が11.2%（前年同期7.7%）となった。[図表①]
- 回答者の居住地は、山形県が25.3%（前年同期46.7%・1位）で最も多く、次いで宮城県15.8%（前年同期7.7%・3位）、東京都11.0%（前年同期9.6%・2位）となった。またエリア別では、首都圏23.9%（前年同期20.4%）、宮城県以外の隣接県21.0%（前年同期9.9%）など、県外居住者の割合が増加している。[図表②]
- 一人当たりの予算について、前年同期との比較では、宿泊費は減少する傾向が見られる。[図表③]
- 今期の旅行日数については、1泊2日が60.4%（前年同期63.7%）で最も多いものの、2泊3日が18.2%（前年同期21.6%）、3泊4日が7.8%（前年同期6.1%）、4泊以上が6.1%（前年同期2.3%）となり、3泊以上の割合が13.9%（前年同期8.4%）と増加した。[図表④]

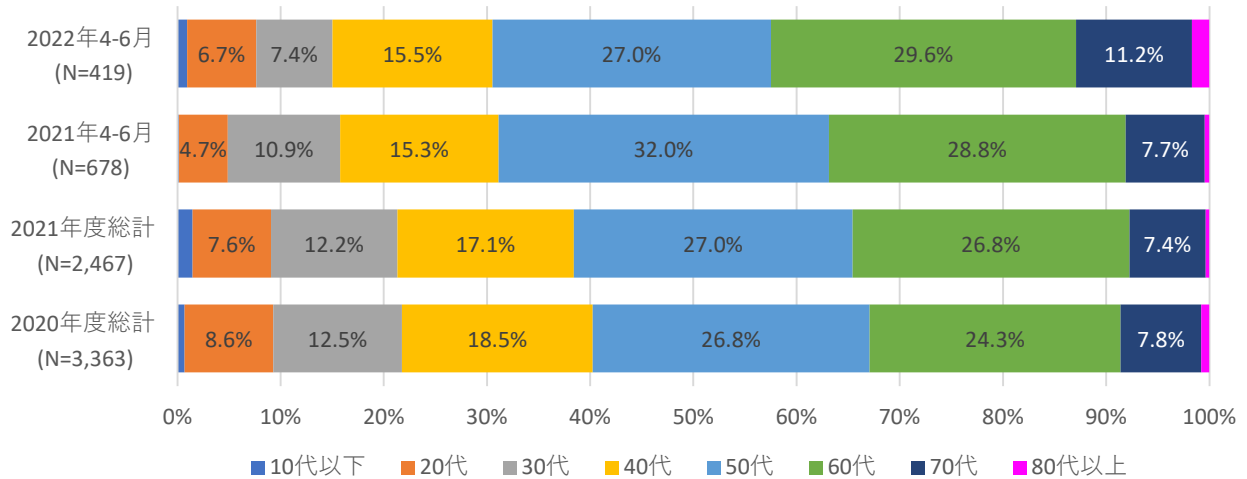
【 調査方法 】 （協力：静岡県立大学渡邊研究室）

- ・ 宿泊・観光施設等でQR付きカードを送付し、観光客がネット上で回答。

《 別 紙 》

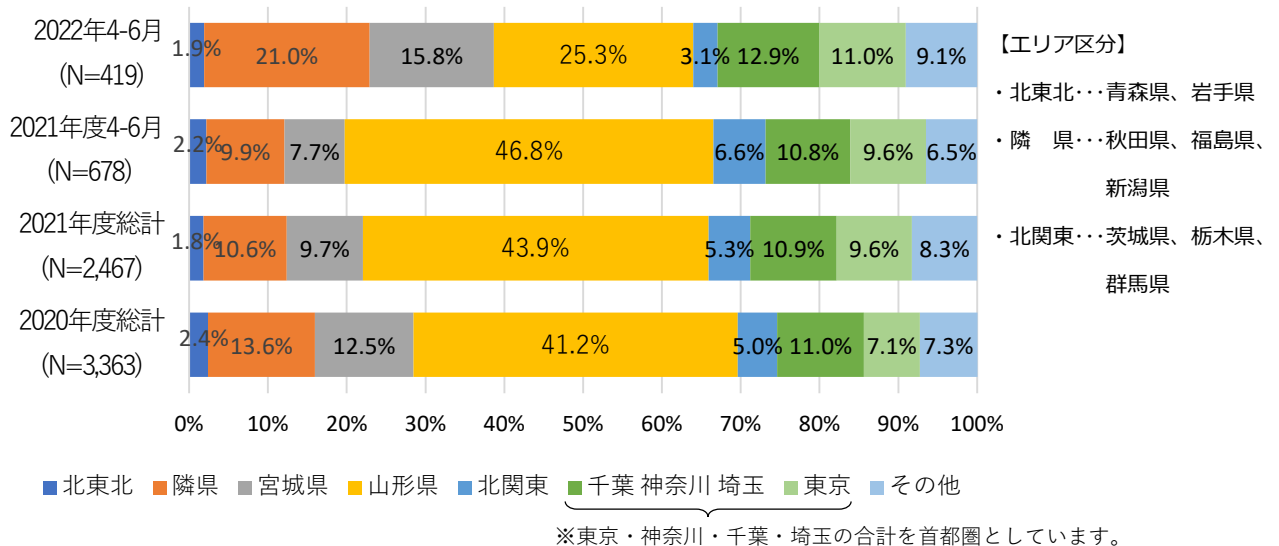
[図表①]

年齢（割合ベース）



[図表②]

居住地（割合ベース）



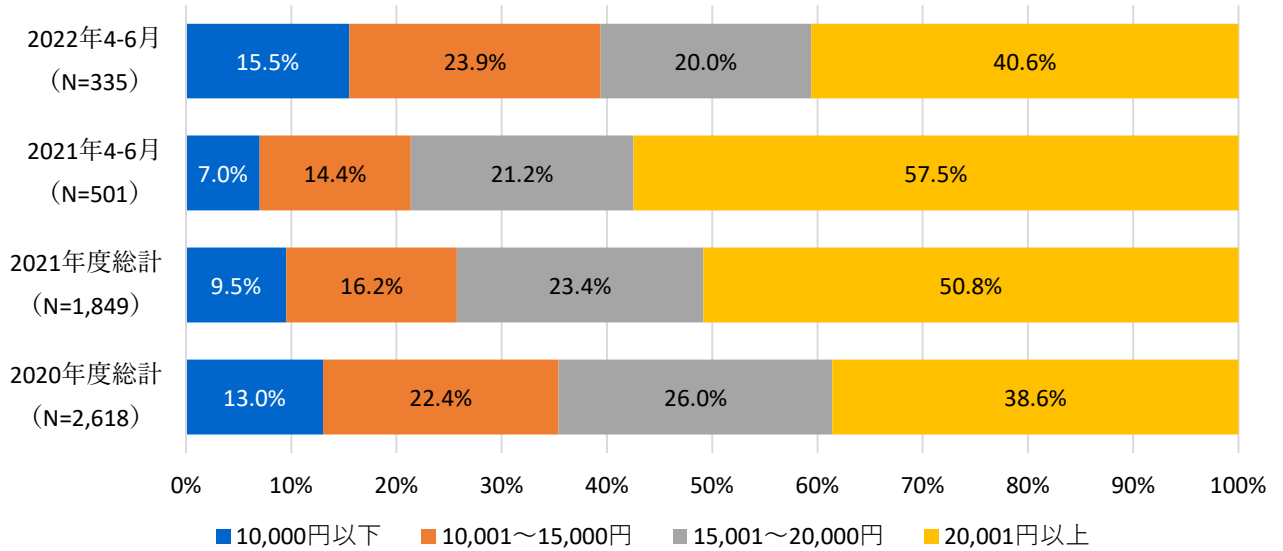
【都道府県別集計】（2022年4-6月）

順位	居住地	人数 (割合)
1	山形県	106 (25.3%)
2	宮城県	66 (15.8%)
3	東京都	46 (11.0%)
4	新潟県	32 (7.6%)
5	福島県	28 (6.7%)

順位	居住地	人数 (割合)
6	神奈川県	23 (5.5%)
7	埼玉県	13 (3.1%)
8	千葉県	18 (4.3%)
9	秋田県	28 (6.7%)
	その他	59 (14.1%)
	計	419 (100.0%)

[図表③]

一人当たりの予算（宿泊費）



[図表④]

旅行日数

